

**Microsoft Windows 95/98 対応
CB-418-T3
プリンタドライバ概略説明書**

第8版 2000年11月

東芝テック株式会社

目次

はじめに	2
1. 概要	2
1.1 特長	
1.2 対象プリンタ	
1.3 動作条件	
2. インストール	4
2.1 インストール方法	
2.2 削除方法	
3. システム構成	6
4. プリンタドライバの機能	9
4.1 プリンタのプロパティ	
4.2 用紙設定ツールによる用紙登録	
5. 使用上の注意	14
5.1 ‘高速データ転送’モードの使用について	
5.2 カットについて	

はじめに

本説明書は東芝テック製カラーバーコードプリンタCB-418-T3用Windows®95/98対応プリンタドライバV1.05 , V1.06の仕様について、その概要を記載したものです。プリンタドライバをご使用になる前、ご使用いただいて不明な点がある場合に、本書 または インストール用FD (Disk1)内のReadme.wri や、ヘルプを覗ください。

1. 概要

1.1 特長

本プリンタドライバは、バーコードプリンタに対応するMicrosoft Windows®95/98 環境下用のプリンタドライバです。

- ・ Windows アプリケーションからの印刷が簡単に行えます。
- ・ バーコードプリンタ固有の命令(制御コマンド)を知ることなく、レザーやインクジェットプリンタなどのOA用プリンタと同じように使用できます。
- ・ バーコードプリンタ特有の、ラベルサイズ、透過／反射センサー、カット印刷などの設定を簡単に行うことができます。
- ・ カラーバーコードプリンタとの接続はパラレルポート(セントロニクス)で接続します。プリンタサーバー機器にカラーバーコードプリンタを接続することにより、カラーバーコードプリンタをネットワーク上の共有プリンタとしてご使用いただけます。
- ・ カラーバーコードプリンタに内蔵しているプリンタフォント、バーコード、2次元コード及びラインは使用できません。
- ・ バーコードジェネレータソフトは、付属していません。

1.2 対象プリンタ

東芝テック製カラーバーコードプリンタ

CB-418-T3 (4インチ幅カラープリンタ、300dpi相当)

1.3 動作条件

本プリンタドライバは以下のシステムおよび環境でご利用になれます。

・ソフトウェア 日本語 Windows®95
日本語 Windows®98

・ハードウェア Intel社製CPU 486DX2 66MHz以上のCPUを搭載し、上記のWindows 95/98が動作するOS/V機(IBM ATコンパチブル)。
16Mバイト以上のシステムメモリ及び3.5"ディスクドライブ、10Mバイト以上の空きがあるハードディスクが必要です。
バーコードプリンタをPCに直接する場合、セントロニクスI/Fが必要です。

推奨条件

プロセッサ Pentium® (133MHz以上)
システムメモリ :32Mバイト以上

注意

- Windows 95/98英語版では使用できません。
- 上記以外のOSを使用しているクライアントマシンから印刷する場合、本プリンタドライバは使用されません。
- Windows 95/98/NT 4.0 サーバー/クライアントの混在環境で使用する場合は、本バージョンのプリンタドライバと、CB-418-T3専用Windows NT対応プリンタドライバ Version 1.05以降の組み合わせのみ、動作が保証されます。
- 本プリンタドライバは1台のPCに1つしかインストールできません。複数のプリンタアイコンを作成できません。
- [プリント]フォルダにある本プリンタのアイコン名称：“TEC CB-418”は、変更しないでください。

2 . インストール

2 . 1 インストール方法

注意 :

本プリンタドライバは、弊社のカラープリンタ (CB-418-T1)用のプリンタドライバである“CB-418 プリンタドライバ for Windows95”との共存はできません。よって、本プリンタドライバをインストールする場合は、“CB-418 プリンタドライバ for Windows95”を削除してからインストールしてください。

- (1) Windows 95/98を起動します。
- (2) インストール用フロッピーディスク“TEC CB-418 セットアップディスク1”をPCのフロッピーディスクドライブに挿入します。
- (3) [スタート] [ファイル名を指定して実行]を選択し、[ファイル名を指定して実行] ウィンドウをオープンします。
- (4) “a:setup”と入力し、[OK]ボタンをクリックします。
- (5) インストールを続ける場合は、[続行]ボタンをクリックします。
- (6) インストール先のディレクトリ(¥CB418)を確認し、[続行]ボタンをクリックするとインストールが開始されます。
- (7) “TEC CB-418 セットアップディスク1”的複写が終了すると、セットアップメッセージが表示されます。
- (8) PCのフロッピーディスクドライブから“TEC CB-418 セットアップディスク1”を取り出し、もう一枚のフロッピーディスク“TEC CB-418 セットアップディスク2”と差し替えて、[OK]ボタンをクリックします。
- (9) “インストールが成功しました”的メッセージが表示されたら、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出して[再起動]ボタンをクリックするとWindows 95/98が再起動されます。
- (10) インストールが終了すると、プリンタドライバ関連のファイルがコピーされ、[プリンタ]フォルダに新しくアイコンが追加されます。
- (11) [スタート] [プログラム] [TEC CB-418]フォルダに、各ツールのショートカットが表示されているか確認します。
(CB-418プリンタドライバのインストールにより、“TEC CB-418”フォルダが表示されます。)

2.2 削除方法

プリンタのプロパティの [詳細タブ] にて、[印刷先のポート]を [LPT1:] に設定した後、以下の操作を行なってください。

- (1) [スタート] → [プログラム] → [TEC CB-418] フォルダから “ドライバ削除”アイコンを選択し、‘アンインストール’ ウィンドウをオープンします。
- (2) [実行] ボタンをクリックして、“CB-418 プリンタドライバ”を削除します。
- (3) [OK] ボタンをクリックして Windows 95/98 を再起動します。
- (4) [OK] ボタンをクリックして、プリンタドライバの削除を終了します。
- (5) プリンタドライバの削除が終了すると、[プリンタ] フォルダからアイコンが削除されます。

3. システム構成

本プリンタドライバは、以下のようなシステム構成でご利用いただけます。

項目説明

PC :	DOS / V機 (IBM PC-AT互換機)
WinNT :	Microsoft® WindowsNT® 4.0 Workstation / Server
Win95 :	Microsoft® Windows® 95 / 98
プリンタ :	東芝テック製カラーバーコードプリンタCB-418-T3
セントロ:	セントロニクスケーブル
プリンタ・サーバー:	EtherNet用プリンタ・サーバー機器
プリンタドライバ :	WindowsNT®対応CB-418-T3プリンタドライバV1.05以降 Windows® 95対応CB-418-T3プリンタドライバV 1.00以降

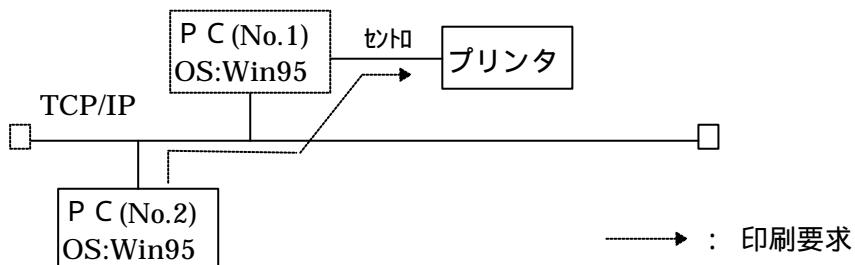
【例 1】



設定 :

PC (No.1) に Win 95 対応プリンタドライバをインストールする。
(印刷するポートは LPT1 (Local Port) に指定する。)

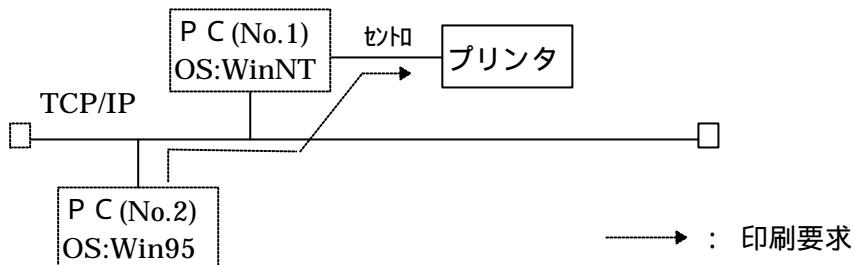
【例 2】



設定 :

PC (No.1) に Win 95 対応プリンタドライバをインストールする。
(印刷するポートは LPT1 (Local Port) に指定する。)
PC (No.1) のプリンタをプリンタのプロパティにて共有プリンタに指定する。
PC (No.2) に Win95 対応プリンタドライバをインストールする。
PC (No.2) にインストールしたプリンタドライバのプロパティにて、PC (No.1) のプリンタのネットワークパスを指定したネットワークポートを追加する。
(ネットワークポートの追加は、プリンタのプロパティの [詳細] タブの [ポートの追加] ボタンにて行なう。)
PC (No.2) の印刷先のポートを、 で追加したネットワークポートに指定する。

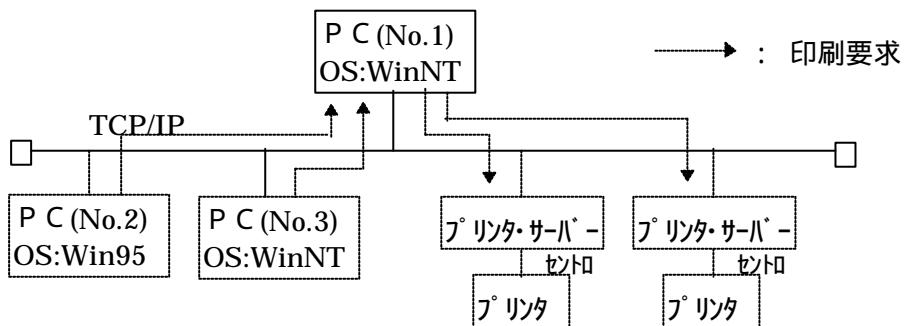
例 3】



設定：

- PC (No.1) に Win NT 対応プリンタドライバをインストールする。
(印刷するポートは LPT1 (Local Port) に指定する。)
- PC (No.1) のプリンタをプリンタのプロパティにて共有プリンタに指定する。
- PC (No.2) に Win95 対応プリンタドライバをインストールする。
- PC (No.2) にインストールしたプリンタドライバのプロパティにて、PC (No.1) のプリンタのネットワークパスを指定したネットワークポートを追加する。
(ネットワークポートの追加は、プリンタのプロパティの [詳細] タブの [ポートの追加] ボタンにて行なう。)
- PC (No.2) の印刷先のポートを、 で追加したネットワークポートに指定する。

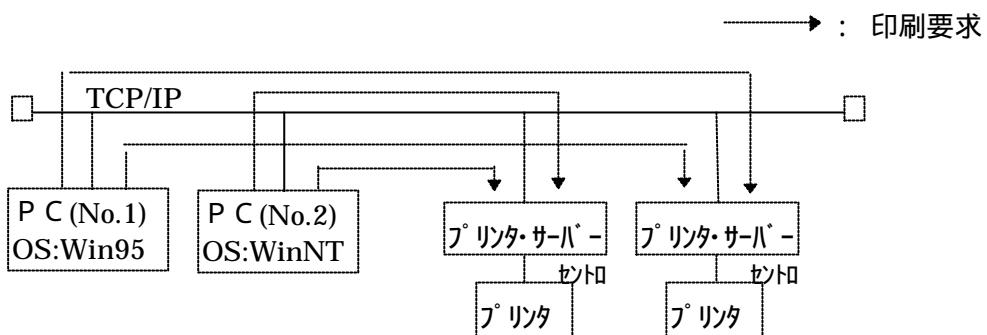
例 4】



設定：

- PC (No.1) に Win NT 対応プリンタドライバをプリンタ台数分インストールする。
- PC (No.1) にインストールしたプリンタドライバのプロパティにて、プリンタ・サーバーのアドレスを指定した LPR Port を追加する。
(LPR Port の追加は、ネットワークサービス (Microsoft TCP/IP 印刷) をインストール後、プリンタのプロパティの [ポート] タブの [ポートの追加] ボタンにて行なう。)
- PC (No.1) のプリンタをプリンタのプロパティにて共有プリンタに指定する。
- PC (No.2) に Win95 対応プリンタドライバをインストールする。 (注 1)
- PC (No.2) にインストールしたプリンタドライバのプロパティにて、PC (No.1) のプリンタのネットワークパスを指定したネットワークポートを追加する。
(ネットワークポートの追加は、プリンタのプロパティの [詳細] タブの [ポートの追加] ボタンにて行なう。)
- PC (No.2) の印刷先のポートを、 で追加したネットワークポートに指定する。
- PC (No.3) に Win NT 対応プリンタドライバを、PC (No.1) に接続されたプリンタのネットワークパスを指定しネットワークプリンタとしてインストールする。

【例5】



設定：

PC (No.1) に Win95 対応プリンタドライバをインストールする。（注1）

プリンタ・サーバーのアドレスを指定した LPR Port を追加する。

（LPR Port の追加は、プリンタ・サーバーの設定ユーティリティ等の他のソフトウェアにて行なう。）

PC (No.1) の印刷先のポートを、で追加した LPR Port に指定する。

PC (No.2) に Win NT 対応プリンタドライバをプリンタ台数分インストールする。

PC (No.2) にインストールしたプリンタドライバのプロパティにて、プリンタ・サーバーのアドレスを指定した LPR Port を追加する。

（LPR Port の追加は、ネットワークサービス（Microsoft TCP/IP 印刷）をインストール後、プリンタのプロパティの [ポート] タブの [ポートの追加] ボタンにて行なう。）

PC (No.2) の印刷先のポートを、で追加した LPR Port に指定する。

（注1）

本Win95/98対応プリンタドライバは、1台のPCに対し、複数のプリンタドライバをインストールできません。印刷に使用するプリンタを変更する場合は、プリンタのプロパティから、印刷先のポートの指定を、使用するプリンタのネットワークポートまたはプリンタが接続されているプリンタ・サーバーのアドレスを指定したLPR Port に切換えることにより変更してください。

（注2）

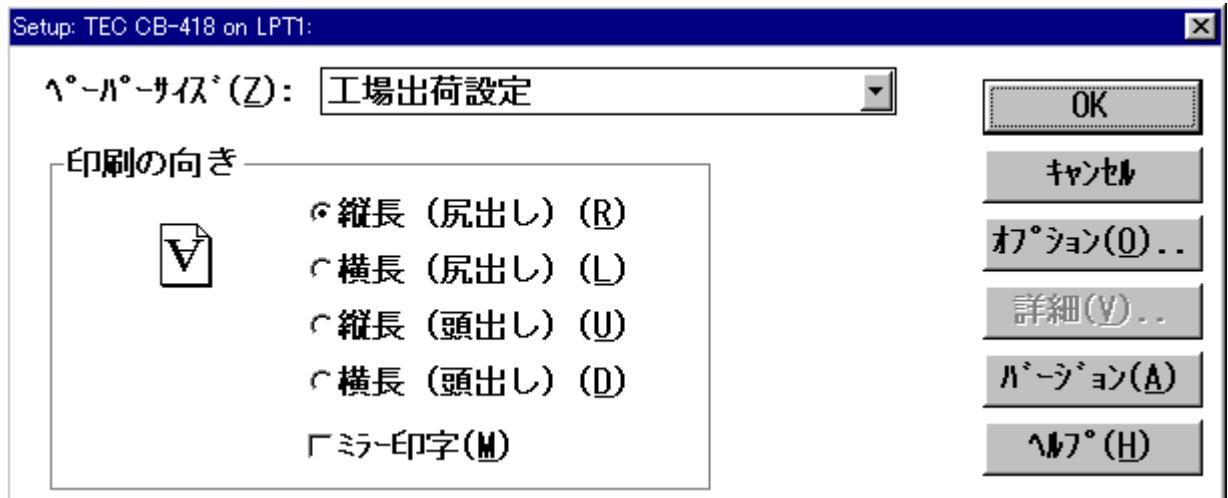
1台のプリンタに対し、複数のクライアントPCから同時に印刷を行うと、プリンタ側で“コマンドエラー”が発生し、正しく印刷されない場合があります。

1台のプリンタで複数クライアントからの印刷を行う場合、【例4】の構成をお勧めします。

4. プリンタドライバの機能

4.1 プリンタのプロパティ

プリンタのプロパティの設定は、プリントマネージャから本プリンタのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから[プロパティ]を選択後、[TEC CB-418 のプロパティ]ダイアログボックスの[詳細]タブの中から[プリンタの設定]ボタンを押すこにより行います。[プリンタの設定]ボタンを押すと、用紙サイズ、印刷の向き、プリンタの印刷条件(印刷スピード等)の設定が可能になります。



ペーパーサイズ

使用する用紙を選択します。

本プリンタドライバに付属されている[用紙設定ツール]を使用することにより、任意サイズの用紙を複数種類登録することができます。使用する用紙は、[用紙設定ツール]にて登録した用紙の中から選択します。(4.2 用紙設定ツールによる用紙登録参照)

印刷の向き

プリンタより印刷されるドキュメントの向きを指定します。

縦長(尻出し)は180度、横長(尻出し)は270度、縦長(頭出し)は0度、横長(頭出し)は90度回転されたイメージが印刷されます。

“ミラー印字”をチェックすると鏡に映した様に反転して印刷されます。

[オプション]ボタン

[オプションダイアログボックス]を表示します。



[オプションダイアログボックス]では、プリンタの印刷に関する以下の諸条件を設定します。

スピード (4"/secまたは6'/secの選択)

インクシート

印刷に使用するインクリボンを設定します。4色、3色から選択します。

4色 : ブラック、マゼンタ、シアン、イエローの4色のリボンを使って印刷を行います。バーコードや黒い文字を印刷する場合は“4色カラー”を指定した方が黒が鮮明に印刷されます。

3色 : マゼンタ、シアン、イエローの3色のリボンを使って印刷を行います。“3色カラー”を印刷するときは、マゼンタ、シアン、イエローの3色を重ね合わせて印刷します。

リボンセーブ

リボンセーブ無し、リボンセーブA、リボンセーブBを選択します。

リボンセーブ無し 色ズレの少ない高品質モードで印刷します。

リボンセーブA 各ヘッドのリボンについて、印字エリアが用紙送り方向に対して32mm(プロミアムリボンの場合40mm)以上データがない場合に、印字ヘッドを上げてリボンを送らないようにしてリボンを節約します。

リボンセーブB 各ヘッドのリボンについて、印字エリアがあるヘッドのみヘッドダウンして、印字終了までヘッドアップしません。

バックフィードの有無

用紙の節約の為に、印刷前に用紙をバックフィードします。

カット間隔

何枚おきにカットするか指定します。プリンタにカッターモジュールが取り付けられていないければ無効となります。

部単位で印刷時のカット (Windows95/98用プリンタドライバV1.05より対応)

カット間隔をチェックした時のみ設定可能です。

アプリケーションの印刷設定で、部単位の印刷を行う場合に指定してください。

チェックボックスをチェックすると、カット間隔と一致するページのみカットされます。

チェックをはずすと、各ページがカットされます。(詳細: 5. 使用上の注意)

疑似階調

印刷対象の画像に対する疑似階調処理を指定します。パターン1またはパターン2を選択します。パターン1は文字、グラフィックス、写真などの各種画像に対応します。パターン2はパターン1よりも密なパターンで、細かい文字などに適しています。

濃度補正

印刷するカラー画像の色合いを調整することができます。R(赤)、G(緑)、B(青)の色のバランスを調整します。

スポットカラーの設定

通常はマゼンタ、シアン、イエローを重ね合わせることにより、いろいろな色を表現するプロセスカラーで印刷します。しかし、プロセスカラーで印刷できない特殊な色(金、銀)あるいは、本機のプロセスカラーでは忠実に再現できない色を印刷する場合は、スポットカラーの機能を使用することにより印刷することが可能になります。

高速データ転送モード (Windows95/98用プリンタドライバV1.04より対応)

印刷データを圧縮し、かつ高速に転送するモードです。

CB-418-T3本体のファームウェアバージョンがV1.2よりも古いバージョンの場合は、印刷できませんのでチェックボックスをチェックしないでください。

また、PCのBIOS設定にて、パラレルポートの設定を[ECP]モードに指定してください。

[詳細]ボタン

ペーパーサイズを“ユーザー定義サイズ”に設定すると、可視状態になります。用紙に関する情報を一時的に設定するダイアログボックスを表示します。設定項目は用紙設定ツールで設定する項目と同じです。(4.2 用紙設定ツールによる用紙登録参照)

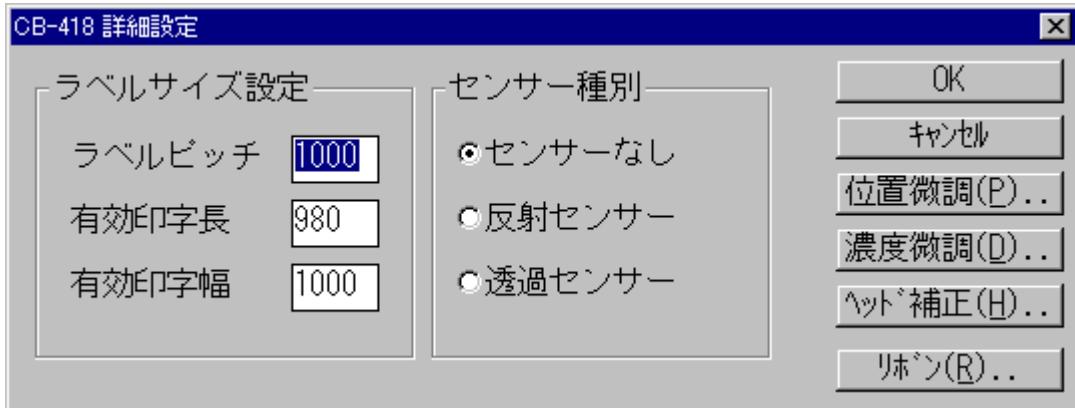
4.2 用紙設定ツールによる用紙登録

用紙設定ツールを使用すると、本プリンタドライバで使用する任意サイズの用紙を、複数種類登録することができます。用紙を登録する際は、用紙毎にプリンタの印刷に関する諸条件(センサー指定、各種微調値等)を設定します。

用紙設定ツールの起動は、スタートメニューの[プログラム]のサブメニューの"TEC CB-418"フォルダにある"用紙設定ツール"を選択することにより行います。



新規に用紙を登録するには、用紙サイズボックスに登録する用紙サイズの名称を入力後、[設定]ボタンを押し、[詳細設定]ダイアログボックスを開いて、ラベルピッチ等の項目を設定することにより登録することができます。



用紙毎に設定するプリンタの印刷に関する諸条件

ラベルサイズ設定 (ラベルピッチ、有効印字長、有効印字幅)

センサー種別 (センサーなし、反射センサー、透過センサー)

位置微調 (バックフィード量、印字開始位置、カット位置、停止位置)

濃度微調 (サーマルヘッド加熱時間の調整)

ヘッド補正 (主走査 副走査方向の色ずれ補正)

リボン設定 (リボン種類、リボン幅、リボンモータ駆動電圧微調)

5. 使用上の注意

5.1 “高速データ転送”モードの使用について

以下の条件が必要となります。

- ・ご使用のPCのBIOS設定でパラレルポートの設定を[ECP]モードに設定する。
- ・プリンタドライバの「高速データ転送」を「する」に設定する。
- ・CB-418-T3プリンタのファームウェアバージョンがV1.2以降であること。

注意

PCの種類により、[ECP]モードにならない又は[ECP]モードにしても転送スピードが変わらないものがあります。

また、PCのパラレルポート設定を[ECP]モードに変更した後の印刷で、何も印刷されない又はプリンタが動作しない場合は、PCのパラレルポート設定を元の設定に戻してください。

高速データ転送モードを使用する際は、プリンタのファームウェアバージョンがV1.2以降であることを確認してください。

V1.2よりも古いバージョンの場合は、「高速データ転送」を「しない」に設定してください。「する」に設定して印刷を行った場合は、プリンタ側LCDに“コマンドエラー”が表示されます。

参考

BIOSの設定方法はPCにより異なりますのでPCのマニュアルを参照して設定を行ってください。

以下に一例を示します。(例: AWARD BIOSの場合)

- (1) PCの電源を投入し、[DEL]キーを押してセットアップ画面に入ります。
- (2) BIOSのメニュー画面が表示されますので、その中の[INTEGRATED PERIPHERALS]を選択し、[Enter]を押します。
- (3) [INTEGRATED PERIPHERALS]の設定画面が表示されますので、その中の[Parallel Port Mode]を選択し、[+][-][PU][PD]キーで[ECP]に設定します。
- (4) [ESC]キーでBIOSのメニュー画面に戻り[SAVE & EXIT SETUP]を選択し、[Enter]を押します。
- (5) PCが再起動されます。

5.2 カットについて

アプリケーションによっては、部単位で印刷可能な場合があります。

部単位で印刷する場合は、[オプション]ダイアログにて「部単位で印刷時のカット」をチェックしてください。また、カット間隔の指定は、次のように設定してください。

部単位で印刷 - 無し：カット間隔は、ドキュメントのページ数を割り切れる数値、かつ指定部数より小さい値。

部単位で印刷 - 有り：カット間隔は、指定部数を割り切れる数値。

部単位で印刷しない場合

カット 間隔	ページ 数	部数	結 果 (数字 : ページ番号、 : カットする場所)
1	6	6	1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4 4
			5 5 5 5 5 5 6 6 6 6 6 6 6
2	6	6	11 11 11 22 22 22 33 33 33 44 44 44 55 55 55 66 66 66
3	6	6	111 111 222 222 333 333 444 444 555 555 666 666
* 4	6	6	1111 11 2222 22 3333 33 4444 44 5555 55 6666 66
* 5	6	6	11111 1 22222 2 33333 3 44444 4 55555 5 66666 6
6	6	6	111111 222222 333333 444444 555555 666666
* 7	6	6	111111 222222 333333 444444 555555 666666

* : カット間隔が、ページ数を割り切れない数値である場合、各ページの終わり(指定部数単位)でカットされます。また、カット間隔が指定部数を超えた場合、同様に各ページの終わり(指定部数単位)でカットされます。

部単位で印刷した場合(部単位で印刷時のカット)のチェックが必要です。)

カット 間隔	ページ 数	部数	結 果 (数字 : ページ番号、 : カットする場所)
1	6	6	1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
			1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
2	6	6	12 34 56 12 34 56 12 34 56 12 34 56 12 34 56 12 34 56
3	6	6	123 456 123 456 123 456 123 456 123 456 123 456 123 456
* 4	6	6	1234 5612 3456 1234 5612 3456 1234 5612 3456
* 5	6	6	12345 61234 56123 45612 34561 23456 12345 6
6	6	6	123456 123456 123456 123456 123456 123456
* 7	6	6	1234561 2345612 3456123 4561234 5612345 6

* : カット間隔が、部数を割り切れない数値である場合、最終ページはカットされません。

注意 部単位で印刷する場合で、[部単位で印刷時のカット]をチェックしない場合は、次のように各ページ毎カットします。

カット間隔	ページ数	部数	結果 (数字 : ページ番号、 : カットする場所)
1	6	6	1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
2	6	6	1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
3	6	6	1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
4	6	6	1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
5	6	6	1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
6	6	6	1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6
7	6	6	1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6

本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

Windows95/98 対応

CB-418-T3

プリンタドライバ概略説明書

2000年11月 第8版 発行

CT3W9508

発行 東芝テック株式会社

流通情報システムカンパニー

〒103-8482 東京都中央区日本橋浜町 3-21-1

©TOSHIBA TEC CORPORATION,1999,2000

無断複写及び転載を禁ず